神奈川県臨床細胞学会　総会　議事次第

日時：2021 年 11 月 13 日（土曜日）　15:00～
場所：Zoom による Web 開催

1. 会長挨拶

2. 報告事項
   ① 庶務報告
   ② 編集委員会報告
   ③ 医師研修委員会報告
   ④ 検査士研修委員会報告
   ⑤ 広報委員会報告
   ⑥ 第 36 回関東臨床細胞学会学術集会・第 39 回神奈川県臨床細胞学会学術集会・日本婦人科がん検診学会（3 会合同開催）
   ⑦ 第 40 回神奈川県臨床細胞学会学術集会について
   ⑧ 2020 年度会計報告および 2021 年度予算案について
   ⑨ 会費滞納者・連絡不通者について

3. 審議事項
   ① 2022 年度～2024 年度　神奈川県臨床細胞学会会長について
   ② 神奈川県臨床細胞学会会誌　投稿の電子化について（7 ページ以降参照）
   ③ 細胞診講習会（仮）開催経費の計上について
   ④ 企業と共催による研修会開催について

4. その他

議事

１．会長挨拶

２．報告事項

① 庶務報告

庶務担当幹事　今井　宏樹

i.　会員数　(2021 年 8 月 31 日 現在)

医師	専門医	歯科専門医	一般医師	計
195(名誉 6 人)	167	4	24	691 (昨年比 8 名増)
技師	細胞検査士		一般技師	
496	495		1	

ii.　新入会員数　(2021 年 8 月 31 日 現在)

医師	専門医	一般医師	計
6	3	3	22 (昨年比 9 名増)
技師	細胞検査士	一般技師	
16	16	0	

iii.　会費納入状況　(2021 年 8 月 31 日 現在)

2020 年度分　552/685　(80.6%)　(昨年比 0.3%増)

(除 名誉会員 6 名)

医師会員　144/187　(77.0%)　(昨年比 8.2%増)

技師会員　408/492　(82.9%)　(昨年比 2.0%減)

② 編集委員会報告

委員長　梶原　博

i.　26 巻の発刊について

原著 1 編、症例報告 5 編　計 6 編

前年度の学会が新型コロナの影響で開催できず、役員会内で投稿を依頼。

2021 年 1 月末の時点で症例報告　2 編、再度お願いし 2021 年 5 月の時点で

計　原著 1 編、症例報告 5 編

5 月まで投稿を募集したため発刊が遅れた。12 月末までの発刊を目指す。

ii.　27 巻 1 号投稿締切：1 月 31 日必着！ 8 月発刊の限度

（投稿数 6 編以上を目安）2021 年日本臨床細胞学会総会春期大会、秋期大会発表者に投稿を依頼する。

③　医師研修委員会報告

委員長　小野瀬　亮

細胞診専門医資格試験認定試験直前ゼミ
昨年度コロナウイルス感染症の感染拡大により中止。
今年度も中止。

④　検査士研修委員会報告

委員長　今井　宏樹

i.　生活習慣病従事者研修会
昨年度コロナウイルス感染症の感染拡大により中止。
今年度も中止。

ii.　細胞検査士研修会
昨年度コロナウイルス感染症の感染拡大により中止。
今年度は Web 開催も含め計画。

⑤　広報委員会報告

委員長　磯崎　勝

ホームページの変更事業
・役員名簿の修正・更新
・お知らせ　随時公開　28 件
・代表幹事会 ZOOM ミーティング準備
・令和２年代表幹事会次第および議事録の掲載
業務分担の効率化を進めるよう会長から依頼があった。

⑥　第 36 回関東臨床細胞学会学術集会・第 39 回神奈川県臨床細胞学会学術集会・日本婦人科がん検診学会（3 会合同開催）
日時：2022 年 10 月 15 日（土）（日本婦人科がん検診学会メイン）
：2022 年 10 月 16 日（日）（関東臨床細胞学会・神奈川県臨床細胞学会メイン）
会場：パシフィコ横浜会議室センター　5 階
大会長：宮城悦子（横浜市立大学医学部　産婦人科学教室主任教授）

⑦　第 40 回神奈川県臨床細胞学会学術集会について
日時：2023 年
大会長：古田玲子（北里大学医療衛生学部　臨床細胞学研究室教授）

⑧　2020 年度収支決算報告および 2021 年度予算案について

2020年度収支決算報告

収入の部			支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
年会費	¥1,800,800	¥2,129,000	関東臨床細胞学会分担金 （684名x500円）	¥342,000	¥342,000
年会費見込額（納入率80%）		年会費内訳	会誌発行経費 (含英文校正代)	¥1,100,000	¥1,045,323
医師　636800円 (0.8 x 199 x 4,000円)		医師 788,000円	第61回日本臨床細胞学会総会 春期大会共催セミナー	¥2,000,000	¥1,000,000
技師　1,164,000円 (0.8 x 485 x 3,000円)		技師 1,341,000円	第59回日本臨床細胞学会 秋期大会共催セミナー	¥2,000,000	¥1,400,000
会誌広告料	¥500,000	¥310,000	第39回学術集会　補助金	¥300,000	¥300,000
会誌別刷り代	¥100,000	¥41,200	国際学会発表支援金	¥100,000	¥0
抄録利用料（医中誌）	¥5,000	¥4,840	役員会開催経費	¥50,000	¥0
生活習慣病従事者講習会 （県からの委託金）	¥0	¥0	編集委員会経費	¥100,000	¥20,948
検査士研修会　参加費	¥50,000	¥0	編集委員会事務員謝礼	¥60,000	¥60,000
検査士研修会 健康財団の共催金	¥20,000	¥0	医師研修会　開催経費	¥30,000	¥0
子宮の日関連補助金 （日本臨床細胞学会）	¥0	¥19,840	検査士研修会　開催経費	¥100,000	¥0
利子		¥2	生活習慣病従事者講習会 開催経費	¥0	¥0
			子宮の日補助金 （神川県細胞検査士会）	¥0	¥19,840
			第36回関東臨床細胞学会 学術集会補助金	¥500,000	¥500,000
			通信費	¥150,000	¥71,924
			事務用品費	¥200,000	¥2,343
			ホームページ維持費	¥50,000	¥19,364
			振込手数料	¥5,000	¥2,420
			予備費	¥100,000	¥0
2020年度収入	¥2,475,800	¥2,504,882	2020年度支出	¥7,187,000	¥4,784,162
2019年度繰越金	¥12,449,111	¥12,449,111	2021年度繰越金	¥7,737,911	¥10,169,831
合計	¥14,924,911	¥14,953,993	合計	¥14,924,911	¥14,953,993

以上の通り、2020年度の会計報告をいたします.　　2021年4月5日

会計　　柿沼廣邦

検査の結果、正確なことを認めます.

監事　　上坊敏子

監事　　石渡仁深

2021 年度予算案

収入見込額		支出予定額	
会費(納入率 80%)	1,822,400	関東臨床細胞学会分担金 (693 名)	346,500
医師 636,800 円 0.8×199×4,000 円		会誌印刷代	1,100,000
技師 1,185,600 円 0.8× 494×3,000 円		第 39 回学術集会補助金	100,000
会誌広告料	500,000	国際学会発表支援金	100,000
会誌別刷代	100,000	役員会開催経費	10,000
抄録利用料(医中誌)	5,000	編集委員会経費	100,000
生活習慣病従事者研修会 県よりの委託金 【今年度中止】	0	編集委員会事務員謝礼	60,000
検査士研修会 参加費	0	医師研修会 開催経費 【今年度中止】	0
検査士研修会 健康財団よりの 補助金	20,000	検査士研修会 開催経費	100,000
「子宮の日」補助金 (日本臨床細胞学会より)	20,000	生活習慣病従事者研修 開催経費 【今年度中止】	0
第 39 回学術集会 中止の返金	230,037	子宮の日補助金 (神奈川県細胞検査士会へ)	20,000
		ホームページ維持費	50,000
		通信費	150,000
		事務用品費	200,000
		関東臨床細胞学会学術集会 補助金	500,000
		振込手数料	5,000
		予備費	100,000
2021 年度収入見込	2,697,437	2021 年度支出予定	2,941,500
2020 年度繰越金	10,169,831	2022 年度繰越予定	9,925,768
合計	12,867,268	合計	12,867,268

⑨　会費滞納・連絡不通者について

４年度分滞納者数　　７名（医師　３名、技師　４名）

５年度分滞納者数　２名（医師　１名、技師　１名）

送付先不明者　９名（医師　５名、技師　４名）

神川県臨床細胞学会 HP に事務局への連絡依頼の案内を掲載し、年内に連絡ない場合退会扱いとする。

３．審議事項

①　2022 年度～2024 年度神川県臨床細胞学会会長について

横浜市大医学部　産婦人科学教室主任教授　宮城悦子先生

②　神奈川県臨床細胞学会会誌　電子化について（7 ページ以降参照）

改正した投稿規定（資料 1）を総会に諮り、承認後第 27 巻より運用する。

③　細胞診講習会（仮）経費計上について

神奈川県臨床細胞学会　細胞診講習会（仮）　2022 年度予算案

収入		支出	
参加費 3,000 円 X20 名	60,000	講師謝礼　25,000 円 X9 名	225,000
		実務委員謝礼　5,000 円 X3 名 X3 日	45,000
		昼食代　15 名分 X900 円	13,500
		お茶代	4,500
		郵送費　84 円 X101 施設	8,484
		事務用品費等	5,000
合計	60,000	合計	301,484

神奈川県より生活習慣病従事者講習会の開催依頼がない場合、神川県臨床細胞学会主催の細胞診講習会（仮）の開催が了承された。来年度の予算案として計上する。

④　企業と共催による研修会開催について

企業との共催は、一企業に偏ること無く開催することが了承された。

４．その他

報告事項・議案なし。

神奈川県臨床細胞学会誌投稿規定

（ver. 20200801）

１．投稿資格

投稿者は共著者も含め，原則として神奈川県臨床細胞学会会員に限る．

２．掲載論文

１）論文の種別は総説，原著，症例報告，スライドカンファレンスである．

２）投稿論文は臨床細胞学の進歩に寄与しうるもので，他誌に発表されていないものに限る．

３）論文作成に際しては，プライバシー保護の観点も含め，ヘルシンキ宣言（ヒトにおける biomedical 研究に携わる医師のための勧告）並びに臨床研究に関する倫理指針（厚生労働省，平成 15 年 7 月 30 日，平成 16 年 12 月 28 日全部改正，平成 20 年 7 月 31 日全部改正）が遵守されていること．

※これらの指針は，公益社団法人日本臨床細胞学会雑誌，各巻第 1 号に記載されているので参照のこと．

４）論文の著作権は本会に帰属し，著者は本会による電子公開を承諾するものとする（本誌の発行の後， 電子公開される．但し，当面の間，スライドカンファレンスのみ該当）．セルフ・アーカイブ（自身のホームページ，所属機関のリポジトリなど）においては表題，所属，著者名，内容抄録の公開は本誌の発行の後に認められる．

投稿論文の表紙に以下を記載すること：「本論文の神奈川県臨床細胞学会への著作権委譲と早期の公開に同意します」（あるいは，様式 1 の書類を提出すること）

５）論文投稿に際し、著者全員の利益相反自己申告書（様式 2）を添付すること．利益相反がある場合は、論文末尾・文献の直前の箇所に，この自己申告書の該当部分が記載される．規定された利益相反状態がない場合は，論文末尾・文献の直前の箇所に，「筆者らは，本論文において開示すべき利益相反状態はありません」などの文言を入れることをもって代えることができる．

６）論文の重複投稿(二重投稿)について、別途掲げる規定（添付１）により判断し投稿すること． 掲載の採否は編集委員会の判断による．

３．投稿形式

１）E-mailを用いた投稿とする．投稿する際には，あらかじめ投稿する旨を編集委員長宛て(学術誌投稿用メールアドレス　****@****)に連絡し，論文整理番号と投稿用パスワードの発行を受ける．

２）論文の投稿は，学術誌投稿用メールアドレス宛てに投稿データを添付する形で行い，

メールタイトルは「整理番号_筆頭著者_バージョン」とする。（例 23S1_神奈川細子_初稿）

メール本文には、カバーレターを記入の他，査読時の依頼や希望事項等を記載する．

3）添付する論文データは，ファイル名に論文整理番号，執筆者名，ファイル内容，投稿のバージョン(初版、2版等)を入れ，編集委員会より指定されたパスワードを掛けて投稿する．

＊パスワードは，論文のセキュリティーおよび著作権保持のため、必ず掛けること．

様式１，様式２、査読に関する文章に関しては，パスワードは不要とする．

データ容量が大きい場合は、ZIP等を用いたファイルの圧縮を行う．

4）再査読（修正論文）の投稿の際には，新規原稿とともに修正部分を朱記した旧原稿も添付し，初回投稿時と同様に，編集委員会より指定されたパスワードを掛けて投稿する。

２回目の投稿以降は，様式１，様式２の添付は不要とする．

*添付ファイル名の見本［23S1_神奈川細子_本文_２版］，［23S1_神奈川細子_本文_２版朱記］
［23S1_神奈川細子_査読者への回答］　等

添付２　「論文投稿，査読，採用までの流れ」を参照

４．執筆要項

１）文章と文体

（１）用語は和文を原則とするが，英文の使用を妨げない．（２）平仮名，常用漢字，現代仮名づかいを用いる．ただし，固有名詞や一般に用いられている学術用語はその限りではない．英文での投稿原稿の場合も和文の場合に準ずる．

（３）度量衡単位は cm，mm，μm，cm²，ml，l，g，mg など CGS 単位を用いる．

（４）外国人名，適当な和名のない薬品名，器具および機械名，または疾患名，学術的表現，科学用語については原語を用いる．大文字は固有名詞およびドイツ語の名詞の頭文字に限る．

（５）医学用語は公益社団法人日本臨床細胞学会編集の「細胞診用語解説集」に準拠すること．また，その略語を用いても良いが，はじめに完全な用語を書き，以下に略語を用いることを明らかにする．

（６）Papanicolaou 分類は使用しないこと．

２)原稿の書き方

原稿はワープロソフトを用い，A4 判縦に横書きし，1 行 25 字で 20 行を 1 枚におさめる．上下左右に 30 mm 程度の余白をとり，左揃えとする．文字は 12 ポイント相当以上を用いるのが望ましい．

３)電子ファイル

以下の電子ファイル形式を推奨する．

Word，RTF，TXT，TIFF，GIF，JPEG，EPS，Postscript，PICT，PDF，Excel，PowerPoint．

なお，印刷に必要な写真の解像度は，雑誌掲載サイズで 300dpi 以上が目安である．

４）総説・原著・症例報告・スライドカンファレンスの様式

（１）構成

タイトルページ，内容抄録，索引用語（key words），本文，利益相反状態の開示，英文抄録，文献，写真，図，表の順とする．原稿には通し頁番号をふる．

タイトルページ（1 頁目）には，当該論文における修正稿回数（初回，修正 1 など），論文の種別

（総説，原著，症例報告，スライドカンファレンス），和文の表題（50 字以内，スライドカンファレンスを除く），著者名，所属のほかに論文別刷請求先，著作権の移譲と早期公開に対する同意，電話番号，ファックス番号，電子メールアドレス，責任著者（corresponding author）を明記する．なお，電話番号，ファックス番号，電子メールアドレスは，本誌には掲載しない．

2 枚目には内容抄録，索引用語を記載する．本文は内容抄録とは別に始める．

（2）著者

著者名は直接研究に携わった者のみに限定する．著者数は以下のとおりとし，それ以外の関係者は本文末に謝辞として表記されたい．

総説：原則として 1 名とする

原著：10 名以内

症例報告：8 名以内

スライドカンファレンス：原則として 1 名とする

（3）内容抄録

500 字以内にまとめ，以下のような小見出しをつける．

総説：論文の内容に応じて適宜設定

原著：目的，方法，成績，結論

症例報告：背景，症例，結論

スライドカンファレンス：内容抄録は不要とする．

（4）索引用語

論文の内容を暗示する英語の単語（Key words）を 5 語以内で表示する．原則として，第 1 語は対象，第 2 語は方法，第 3 語以下は内容を暗示する単語とする．

key words 例：

胆嚢穿刺吸引細胞診―胆嚢癌 4 例の細胞像と組織像―

Gallbladder，Aspiration，Cancer，Morphology

肝細胞癌についての 1 考察

Hepatocellular carcinoma，Morphology，Review

喀痰中に卵巣明細胞腺癌細胞が見出されたまれな 1 例

Clear cell adenocarcinoma，Cytology，Sputum，Metastasis，Case report

（5）本文及び枚数制限

a. 総説・原著

本文，文献を含め 10,000 字以内（A4 判 20 頁）とする．

図・表（写真を含まず）は，10 枚以内とする．写真の枚数に制限はないが，必要最少限の枚数とする．

b. 症例報告

本文，文献を含め 6,000 字以内（A4 判 12 頁以内）とする．

図・表（写真を含まず）は，5 枚以内とする．写真の枚数に制限はないが，必要最少限の枚数とする．

c. スライドカンファレンス

出来上がり 2 頁以内とする.

図・表の枚数に制限は設けない.

出題者名のほか，回答者，司会者名，本会学術集会時のスライドカファレンス症例番号を明記する.

（6）英文抄録

本文とは別紙に，表題の英訳およびローマ字つづりの著者名，所属の英文名，および抄録内容を記す．著者名のあとに，以下の略号を用いてそれぞれの称号あるいは資格を付記する.

医師：M. D.　M. D., M. I. A. C.　M. D., F. I. A. C.

歯科医師：D. D. S. とし，それ以外の称号あるいは資格は医師と同様に付記する.

臨床検査技師：M. T.　C. T., J. S. C.　C. T., I. A. C.　C. T., C. M. I. A. C.　C. T., C. F. I. A. C. などを記載する.

抄録内容は英語で 200 語以内（ただし表題，著者名，所属名は除く）とし，以下のような小見出しをつけてまとめる.

総説：論文の内容に応じて適宜設定

原著：Objective, Study Design, Results, Conclusion

症例報告：Background, Case（または Cases), Conclusion

スライドカンファレンス：英文抄録は不要とする.

（7）文献

a. 主要なものに限る.

総説：特に編数の制限を定めない

原著：30 編以内

症例報告：15 編以内

スライドカンファレンス：数編以内

b. 引用順にならべ，本文中に肩付き番号を付す.

c. 文献表記はバンクーバー・スタイルとし，誌名略記について和文文献は医学中央雑誌刊行会，英文文献は Index Medicus に準ずる．参考として以下に例を記載する.

【雑誌の場合】

著者名（和名はフルネームで，欧文名は姓のみをフルスペル，その他はイニシャルのみで 6 名まで表記し，6 名をこえる場合はその後を“・ほか”，“et al”と略記する）．表題（フルタイトルを記載）．雑誌名 発行年（西暦）；巻：頁－頁.

【単行本の場合】

著者名．表題．発行地：発行所；発行年（西暦）．なお，引用が単行本の一部である場合には表題の次に編者名，単行本の表題を記し，発行年．頁－頁.

他者の著作物の図表を論文中で使用する場合は，原著者（あるいは団体）より投稿論文を電子公開することを含めた許諾が必要で，これを証明する書類を添付する.

（8）図・表・写真

a. 図，表の記載は，タイトル・説明文ともに，和文，英文を問わない．写真，図，表は Photo. 1, Fig. 1, Table 1 などのようにそれぞれの番号をつけ，簡単なタイトルと説明を付記する.

b. 本誌に掲載希望通りのプリント写真を添付すること（白黒写真掲載を希望なら白黒プリント，カラー掲載を希望ならカラープリントを添付）．白黒掲載希望で原図がカラー写真として投稿された場合，白黒原図の提出を求めることがある．ただし，スライドカンファレンスは本会ホームページに掲載するため，白黒写真投稿の場合においても，カラー原図（CD 版）をあわせて提出すること．

c. 本文中には写真，図，表の挿入すべき位置を明示する．

d. 顕微鏡写真には倍率を付する．光顕写真（細胞像，組織像）の倍率は撮影時の対物レンズ倍率を用いる．電顕写真については撮影時の倍率を表示するか，または写真にスケールを入れる．

5）英文投稿の場合

A4 縦にダブルスペースで 10 頁以内とする．

和文抄録を付し，図・表その他は和文の場合に準ずる．

5．別　刷

別刷を希望するときは，校正時に部数を明記して申し込む．

6．論文の審査

投稿論文は編集委員会での審査により採否を決定し，その結果を筆頭著者に通知する．審査にあたっては査読制をとる．査読の形式は、投稿者と編集委員長、編集委員長と査読者の間で、電子メールによる応答で行う。

原稿の組体裁，割付は編集委員会に一任する．

添付２　「論文投稿，査読，採用までの流れ」を参照

7．　校 正

著者校正は原則として初校において行う．出版社から送付された校正は，必ず 3 日以内に返送する．校正担当者が筆頭著者以外の時は，校正の責任者と送り先を投稿時に明記すること．校正では間違いを訂正する程度とし，原稿にない加筆や訂正は行えない．

当面の間、英文校正は編集委員会が業務を仲介するが，内容の変更に関しては著者の責任のもとに行うこと．

8．掲載料

掲載料(白黒写真製版代を含む)，英文校正料は無料とするが，カラー写真印刷代，その他の図版費（図の製版代），別刷代は著者負担とする．

９．本規定の改定

本規定は改定することがある.

附則

１．本規定は平成 25 年 9 月 28 日から施行する.

２．平成 26 年 5 月 14 日　一部改定施行.

３．平成 27 年 5 月 19 日　一部改定施行.

４．平成 27 年 10 月 3 日　一部改定施行.

様式１　著作権委譲等誓約書

様式２　著者の利益相反自己申告書

添付１　論文の二重投稿規程

添付２　論文投稿、査読、論文掲載までの流れ

（様式１）

著作権委譲誓約書・早期公開同意書・
電子公開同意書（スライドカンファレンスの場合）

神奈川県臨床細胞学会編集委員会　御中

論文名：

上記投稿原稿につき，

① その内容が他誌に掲載されたり，あるいは投稿していないことを誓約致します．また，掲載後のすべての資料の著作権は神奈川県臨床細胞学会に属し，他誌への無断掲載は致しません．

② 論文の早期公開に同意します．

③ スライドカンファレンスの支部会ホームページ公開に同意します（該当者のみ）．

平成　　年　　月　　日

著者所属：

著者氏名：

＊投稿論文への記載をもって本書式の提出に代えることができる．

（様式２）

著者の利益相反自己申告書

神奈川県臨床細胞学会編集委員会　御中

論文名：

	金額	該当の状況	該当の有る場合, 企業名等
役員・顧問職	100 万円以上	有り・ 無し	
株	利益 100 万円以上/全株式の 5%以上	有り・ 無し	
特許使用料	100 万円以上	有り・ 無し	
講演料など	50 万円以上	有り・ 無し	
原稿料など	50 万円以上	有り・ 無し	
研究費	200 万円以上	有り・ 無し	
その他報酬	5 万円以上	有り・ 無し	

＊物品供与，貸与の場合等は金額換算とする.

誓約:私の本論文に関わる利益相反に関する状況は上記のとおりであることに相違ありません.

平成　　年　　月　　日

著者所属：

著者氏名：

（添付１）

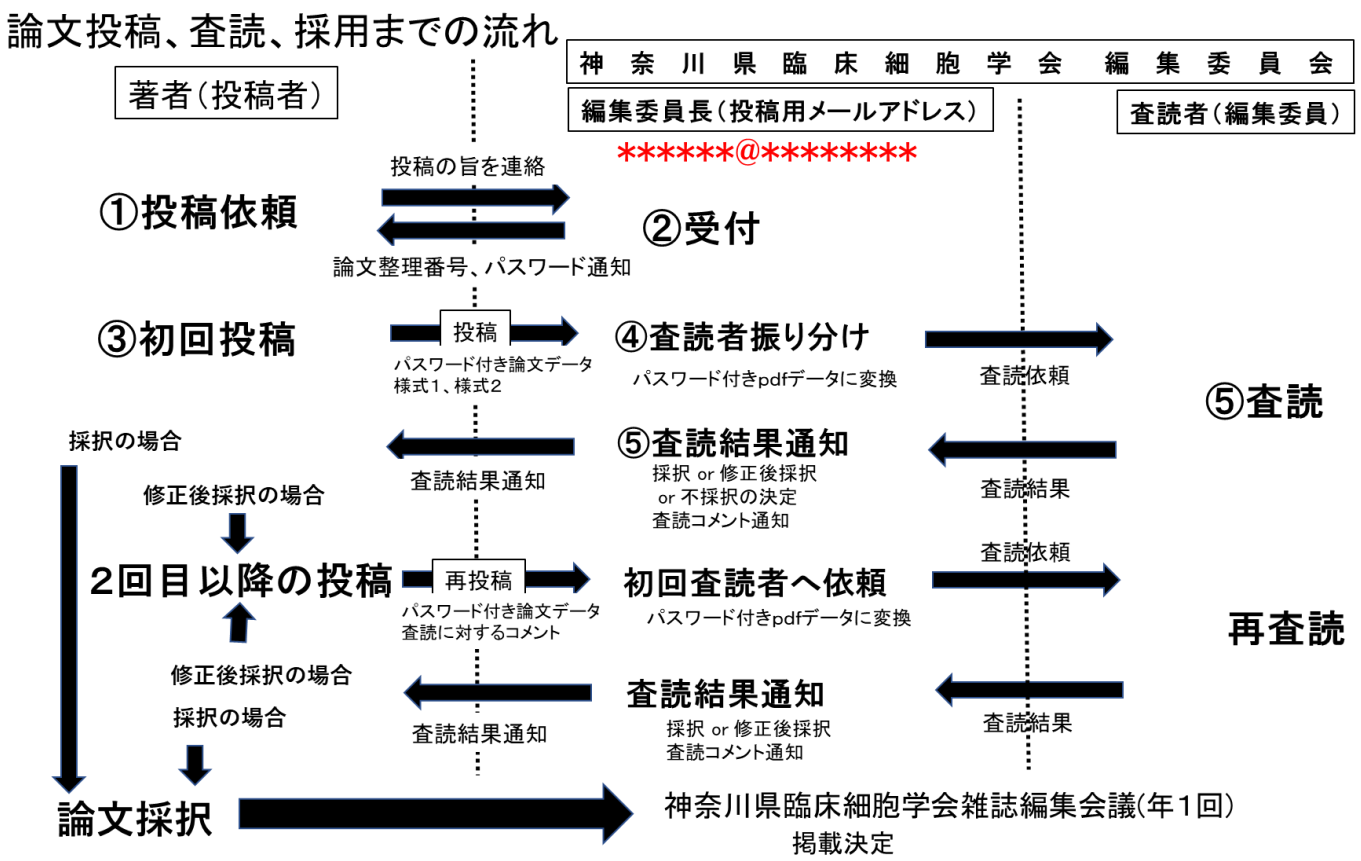
論文の二重投稿規程

本誌では同一論文の掲載は原則として認めていない.ただし，以下の条件をすべてみたす論文については，編集委員会の判断により掲載を考慮する．本規定は，国際医学雑誌編集者委員会(International Committee of Medical Journal Editors, ICMJE)の統一規定に準拠したものである.

１．初出版の編集責任者から二次出版の許可を得ていること．二次出版の投稿時には，初出版の別刷または複写，掲載準備中の場合には原稿ならびに掲載証明を提出すること．　２．二次出版には本文中および文献欄などに初出版について明記されていること．　３．二次出版の内容は，初出版と異なる視点で論じられていること.

同一症例を扱った論文（症例報告）において，初出版が臨床的事項を中心に執筆され，二次出版では病理細胞学的事項を中心に論じられた場合などが，これに該当する.

（添付２）


論文投稿、査読、採用までの流れ
著者（投稿者）
神　奈　川　県　臨　床　細　胞　学　会　　編　集　委　員　会
編集委員長（投稿用メールアドレス）
査読者（編集委員）
******@********
投稿の旨を連絡
①投稿依頼
②受付
論文整理番号、パスワード通知
③初回投稿
投稿
パスワード付き論文データ
様式1、様式2
④査読者振り分け
パスワード付きpdfデータに変換
査読依頼
⑤査読
採択の場合
⑤査読結果通知
採択 or 修正後採択
or 不採択の決定
査読コメント通知
査読結果通知
査読結果
修正後採択の場合
2回目以降の投稿
再投稿
パスワード付き論文データ
査読に対するコメント
初回査読者へ依頼
パスワード付きpdfデータに変換
査読依頼
再査読
修正後採択の場合
採択の場合
査読結果通知
採択 or 修正後採択
査読コメント通知
査読結果
論文採択
神奈川県臨床細胞学会雑誌編集会議(年1回)
掲載決定